

環境マネジメントシステム導入報告書

| | | |
|--|--|--|
| (宛 先) 京 都 市 長 | | 平成29年7月31日 |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町614番地 | | 報告者の氏名（法人にあっては、名称および代表者名） 京都駅ビル開発株式会社 代表取締役社長 福山隆夫 |

| | |
|--|--|
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。 | |
| 環境マネジメントシステムの名称 | 環境マネージメントシステム（KESステップ2-SR、ステップ2-En） |
| 適用範囲 | 京都駅ビル、事務所 |
| 導入年月日 | 24年 6月 1日 |
| 認証番号 | KES2SR-0001、KES2En-0001 |
| 基本方針 | <p>京都駅ビル開発株式会社は、「持続可能な発展への貢献を最大化」することが人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて、SR活動及びエネルギーパフォーマンスの向上とともに、環境負荷の低減に努めます。</p> <p>京都駅ビル開発株式会社は、京都駅ビルに関わる全ての活動、製品及びサービスのSR活動及びエネルギーパフォーマンスの向上とともに、環境影響低減のために、次の方針に基づき環境（SR・エネルギー）マネージメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。</p> |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | <p>①地域コミュニティへの参画→「下京・京都駅前サマーフェスタ」、「京都・梅小路みんながつながるP J」、京都駅周辺の環境整備、地域協議会への参画。</p> <p>②環境共生推進への取り組み→「緑水歩廊」による緑化等の情報発信、専門家・学生への場の提供。</p> <p>③京都駅ビル原油換算エネルギー量の削減→27年度比15.5%削減</p> <p>④事務所電力使用量の削減→電力使用前年比1%削減</p> <p>⑤一般廃棄物及び食品廃棄物の再資源化率維持→一般廃棄物の再資源化率55%、食品廃棄物再資源化率99%の維持</p> <p>⑥事務所ごみ分別の徹底と排出量削減→1%の減</p> |
| 目標を達成するための取組の内容 | <p>①地域コミュニティへの参画→「下京・京都駅前サマーフェスタ」、「京都・梅小路みんながつながるP J」及び京都駅周辺の環境整備等を継続して実施。</p> <p>②環境共生推進への取り組み→「藤袴と和の花展示会」の開催、京都学園大学による緑水歩廊モニタリングへの協力。</p> <p>③京都駅ビル原油換算エネルギー量の削減→28年8月竣工、引き続きコミッションング会議による機能的検証を実施し最適な機器設備の運用を行う。</p> <p>④事務所電力使用量の削減→ケル・ウォルビス実施、事務エリア別電気使用量管理等</p> <p>⑤一般廃棄物及び食品廃棄物の再資源化率維持→店舗指導を行い、率の維持に努める。</p> <p>⑥事務所ごみ容量削減→分別の推進、計量による排出量の正確な把握。</p> |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | <p>①地域コミュニティへの参画 「下京・京都駅前サマーフェスタ」、「京都・梅小路みんながつながるP J」及び京都駅周辺の環境整備等を継続して実施した。</p> <p>②環境共生推進への取り組み 「緑水歩廊」による緑化等の情報発信と専門家・学生への場の提供、外部への情報発信を行った。</p> <p>③京都駅ビル原油換算エネルギー量の削減→28年8月に高効率な熱源設備が竣工。熱源設備更新の効果もあり27年度比で13.8%の削減を実現したが達成率は及ばず98%。</p> <p>④事務所電力使用量の削減→目標達成率111%</p> <p>⑤京都駅ビルゴミの再資源化→一般廃棄物の再資源化率58.1%、②食品廃棄物再資源化率100%。</p> <p>⑥事務所ごみ容量→目標達成率93%。</p> |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | <p>① すべての項目で達成率100%超。（A評価）</p> <p>② すべての項目で達成率100%超。（A評価）</p> <p>③ 熱源機器更新初年度につき試行錯誤をしながらの運転であったため、達成率は98%であったが、大幅な削減を実現した取り組みが評価され「京環境配慮建築物」優秀賞を受賞した。（B評価）</p> <p>④ 電気給湯器や複合機の入れ替えによる節電効果もあり大幅な削減を実現した。（A評価）</p> <p>⑤ 店舗での定期的な巡回指導の効果もあり、一般、食品ともに廃棄物の再生化率が向上した。（A評価）</p> <p>⑥ 雑紙類（19%増）とプラスチックごみ（10%増）の影響で目標達成に至らなかった。（B評価）</p> |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | 関係法令を調べ一覧にすると共に、調査の結果遵守できていることを確認した。 |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | <p>①地域コミュニティへの参画→サマーフェスタ開催等</p> <p>②環境共生推進への取り組み→緑水歩廊の情報発信や専門家・学生への場の提供。</p> <p>③京都駅ビル原油換算エネルギー量の削減→29年度目標で28年度比2.0%削減</p> <p>④事務所電力使用量の削減→28年度比1%削減、個別空調忘れゼロ</p> <p>⑤一般廃棄物及び食品廃棄物の再資源化率の維持→一般廃棄物及び食品廃棄物再資源化率維持。（一般55%、食品99%）</p> <p>⑥事務所ごみ分別徹底と排出量削減→ごみ容量28年度比1%削減と再資源化率1%向上。</p> |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。